

情 報 公 開 文 書

研究の名称	0～3歳時の喘鳴・喘息に対する妊娠期、出産後の喫煙ならびに家庭内喫煙の影響 (エコチル調査のデータ解析より)
整理番号	R2020020
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	富山大学 学術研究部医学系・小児科学講座・教授 足立 雄一
研究の概要	<p>【研究対象者】 エコチル調査に参加され、妊娠期からお子さんが3歳時までの質問票に回答して下さった全参加者</p> <p>【研究の目的・意義】 受動喫煙が小児、特に胎児期から新生児期の呼吸器系の発達に障害を与え、咳などの呼吸器症状の増加、呼吸機能の低下、気道感染症の増加、乳児突然死症候群の増加などの原因となることが報告されています。</p> <p>また、喫煙と喘鳴(ゼイゼイ、ヒューヒュー)・喘息との関連を検討した先行研究では、出産前の母の喫煙によって6歳未満の児童の喘鳴のリスクを36%増加させ、また出産後の母、父の喫煙によって6歳未満の児童の喘鳴または喘息発症のリスクをそれぞれ21%、30%増加させることが報告されていますが、その研究のほとんどがヨーロッパからであり、アジアからの報告は少なくその根拠は限定的であると考えられます。</p> <p>エコチル調査は10万人を対象とした調査であり、この研究により、0～3歳時の喘鳴・喘息に対する妊娠期、出産後の喫煙ならびに家庭内喫煙の影響について信頼性の高い結果を得ることができます。</p> <p>【研究の方法】 エコチル調査で実施した妊娠期女性を対象とした登録時(妊娠時)と妊娠中期、分娩時に実施した質問票調査、対象者のパートナーに実施した登録時(妊娠時)の質問票調査により、喫煙の行動および関連する要因についての情報を得ます。また、評価項目である0～3歳時の喘鳴・喘息は同時期の質問票から評価し、分娩時、分娩後1か月の児の診察記録を転記した調査票や児が3歳時までの質問票調査から喘鳴に関与する因子についての情報を得ます。</p> <p>上記の各質問票、調査票から得られるデータを用いて解析します。</p> <p>【研究期間】 2020年(令和2年)4月23日～2023年(令和5年)3月31日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 利用する情報からお名前、住所など、参加者を直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌、エコチル調査専用のホームページ、シンポジウム、広報誌、テレビ、ラジオなど様々なメディアで発表されますが、その際も参加者さんを特定できる個人情報は利用しません。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	出生児が0～3歳時点での喘鳴または気管支喘息の存在、妊娠前後、出産後の喫煙行動(対象者、パートナーの喫煙)、喫煙に関連する因子や喘鳴、喘息の危険因子(食事、飲酒、家族のアレルギー歴、児のアレルギー既往歴など)を本学にて解析します。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・小児科学講座・教授 足立 雄一
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者(研究主機関における研究責任者氏名)	研究責任者 富山大学 学術研究部医学系・小児科学講座・教授 足立 雄一
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外(試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む)を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 富山大学 学術研究部医学系・公衆衛生学講座 土田 暁子・助教 TEL:076-434-7277 FAX:076-434-5023 E-MAIL aktsuchi@med.u-toyama.ac.jp